

# SECURE Face Tracker Master Ver.1.0

## ユーザーガイド



## 目次

1.	はじめに.....	1
2.	システム構成.....	1
3.	各画面の名称.....	2
3.1.	メイン画面.....	2
3.2.	顔認証履歴データ一覧画面.....	3
3.3.	顔検知履歴データ一覧画面.....	3
3.4.	類似検索画面.....	4
3.5.	個人データ一覧画面.....	4
4.	Face Tracker Master を起動する.....	5
5.	Face Tracker Master を終了する.....	5
6.	マスター連携機能を使用する.....	6
6.1.	Face Tracker Master の設定.....	6
6.2.	Face Tracker の設定.....	7
7.	拠点の状態を監視する.....	9
8.	拠点から検知・認証履歴をリアルタイムで受け取る.....	10
9.	拠点の個人データの管理をする.....	11
9.1.	拠点に登録されているデータを管理する.....	11
9.1.1.	拠点の個人データを削除する.....	12
9.1.2.	拠点の個人データを編集する.....	13
9.1.3.	拠点から個人データを取得する.....	14
9.2.	拠点へ Face Tracker Master のデータを登録する.....	15
9.2.1.	拠点へ個人データを登録する.....	16
9.2.2.	拠点へ個人データを同期する.....	17
10.	顔認証履歴を確認する.....	18
10.1.	顔認証履歴を表示する.....	18
10.2.	顔認証履歴リストを保存する.....	20
11.	顔検知履歴を確認する.....	21
11.1.	顔検知履歴を表示する.....	21
11.2.	顔検知リストを保存する.....	23
11.3.	検知履歴から類似した顔を探す.....	23
12.	顔を登録する.....	25
12.1.	動画ファイルから顔を登録する.....	25
12.2.	画像ファイルから顔を登録する.....	27
12.3.	顔検知履歴から顔を登録する.....	29
12.4.	新規に顔を登録する.....	30
12.5.	すでに登録されているデータに顔を登録する.....	31
12.6.	顔登録のコツ.....	32
13.	個人データの内容を編集する.....	33
14.	登録されているデータの管理をする.....	36

14.1.	データをエクスポートする .....	36
14.2.	データをインポートする .....	38
14.3.	種別を管理する .....	40
14.4.	カスタム項目を管理する .....	42
15.	Face Tracker Master から通知を行う .....	44
15.1.	音声通知機能を使う .....	44
15.2.	メール通知機能を使う .....	44
16.	レコーダー連携機能を使う .....	45
16.1.	再生画面を呼び出す .....	45
16.2.	再生画面の使い方 .....	46
16.2.1.	映像の自動再生機能 .....	46
16.2.2.	画面を分割表示する .....	46
16.2.3.	カメラを切り替える .....	46
16.2.4.	映像を再生する .....	47
16.2.5.	再生日時を変更する .....	47
16.3.	レコーダーの映像を保存する .....	48
17.	設定 .....	49
17.1.	アプリケーションの設定 .....	49
17.2.	拠点の設定 .....	50
17.3.	通知音の設定 .....	52
17.4.	メール通知の設定 .....	53
17.5.	レコーダー連携の設定 .....	55
17.6.	データベースの設定 .....	57
17.7.	ライセンスの設定 .....	58

## 1. はじめに

本書は当社製品 **Face Tracker Master** の使用方法について記載するものです。

製品全体の使用方法については、別途「**Face Tracker ユーザーガイド**」をお読みください。

マスター連携機能は **Face Tracker** に搭載されている機能です。本機能を用いることにより、**Face Tracker** の顔認証データ、及び顔検知データを **Face Tracker Master** で確認できるようになります。

※本ユーザーガイドについては、将来予告なしに変更することがあります。

※製品改良のため、予告なく仕様の一部を変更することがあります。

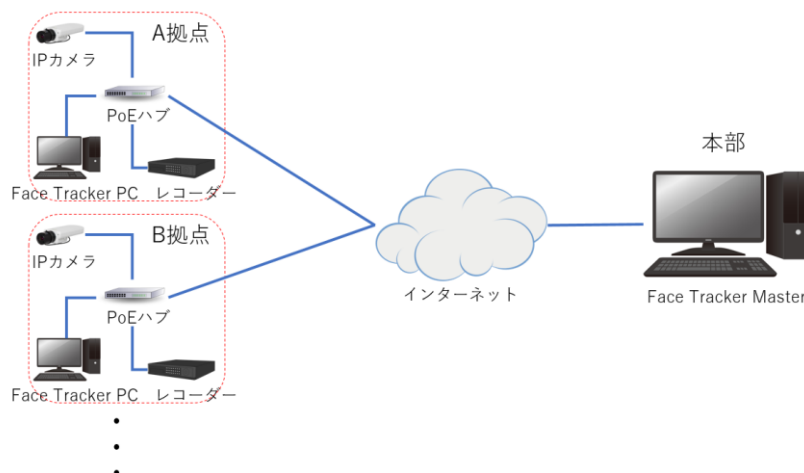
※本ユーザーガイドの一部または全部を無断で複製することは、個人利用を除き禁止されております。また、無断転載は固くお断りします。

※本ユーザーガイドに記載されているアプリケーション、画像、及び説明は、実際の製品と多少異なる場合があります。

## 2. システム構成

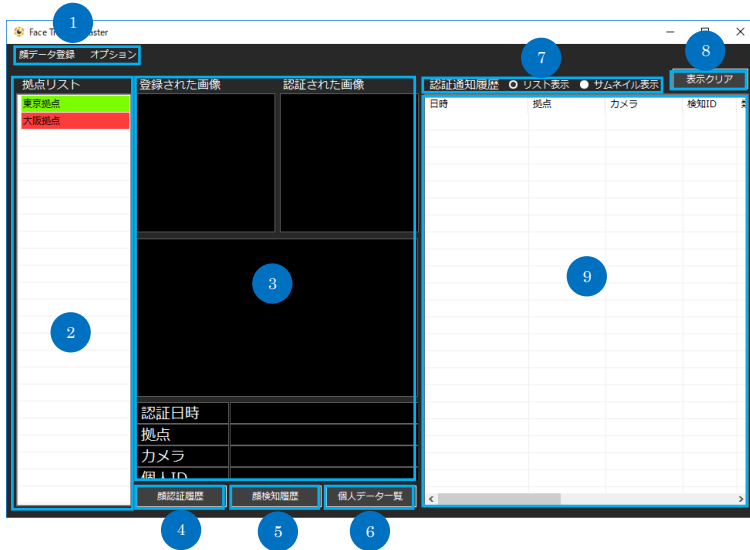
本製品は以下のように **Face Tracker** と接続しシステムを構成します。

※**Face Tracker Master** では最大 1,000 拠点まで登録することが可能です。



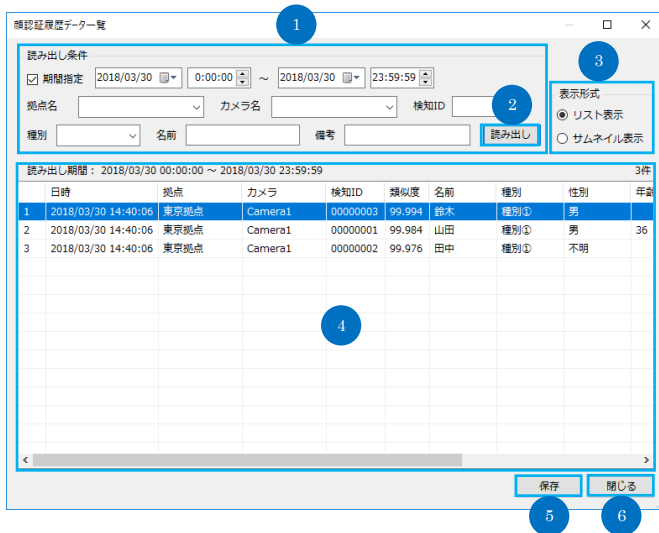
### 3. 各画面の名称

#### 3.1. メイン画面



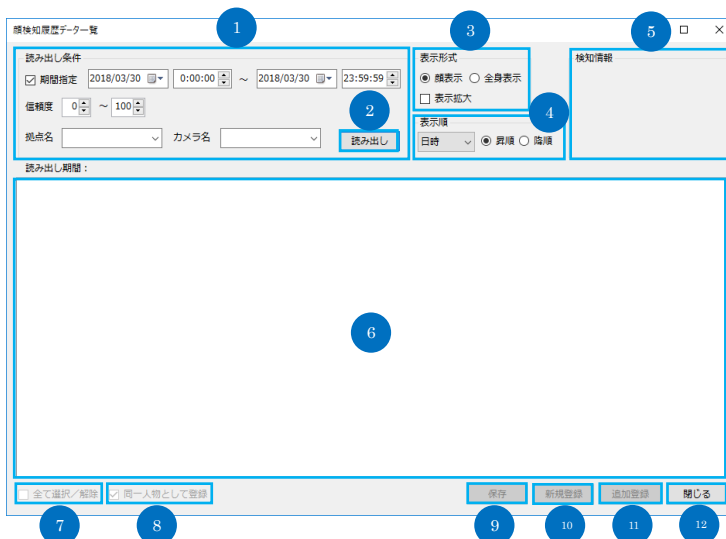
①	メニューバー	②	拠点リスト 表示部	③	認証履歴 表示部	④	顔認証履歴 表示ボタン	⑤	顔検知履歴 表示ボタン
⑥	個人データ 表示ボタン	⑦	表示形式変更 ボタン	⑧	表示クリア ボタン	⑨	認証履歴 表示部		

### 3.2. 顔認証履歴データ一覧画面



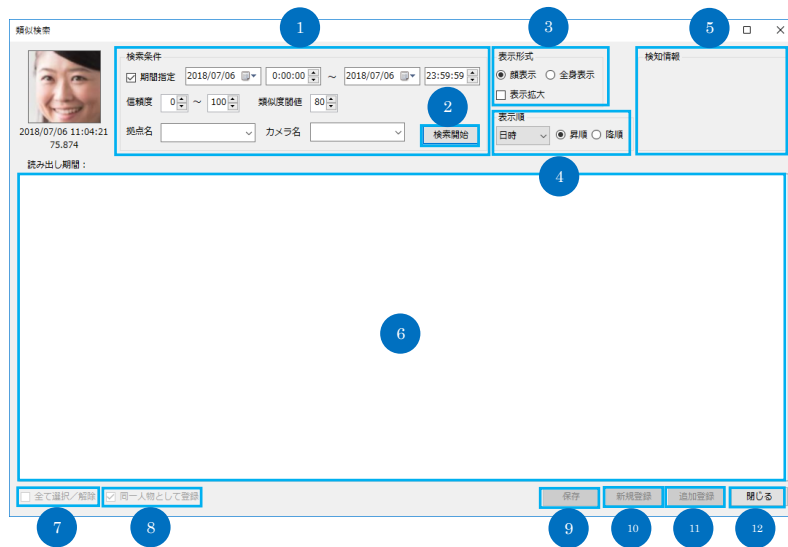
①	読み出し条件変更部	②	読み出しボタン	③	表示形式変更ボタン
④	読み出し結果表示部	⑤	保存ボタン	⑥	閉じるボタン

### 3.3. 顔検知履歴データ一覧画面



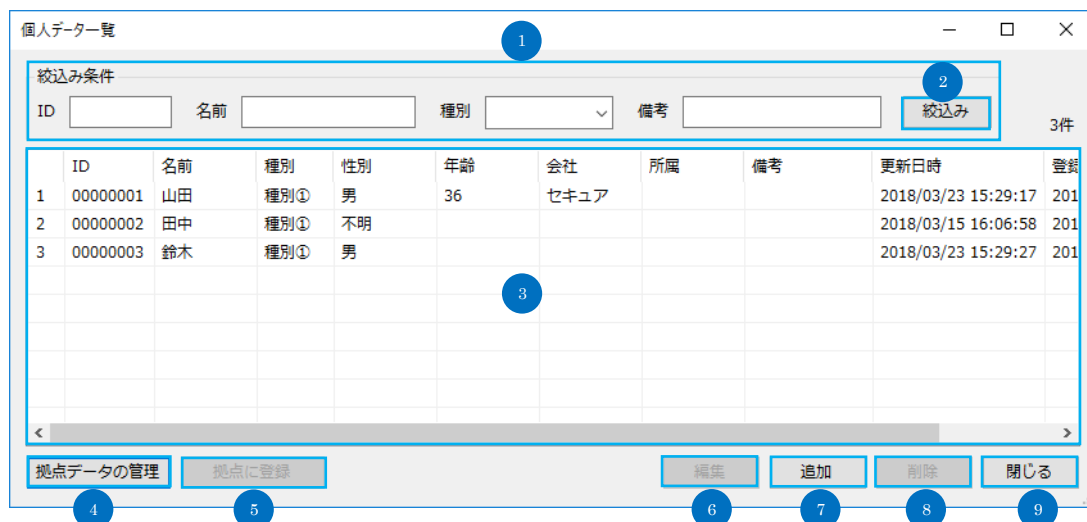
①	読み出し条件変更部	②	読み出しボタン	③	表示形式変更部	④	表示順変更部
⑤	検知情報表示部	⑥	読み出し結果表示部	⑦	全て選択/解除 チェックボックス	⑧	同一人物として登録 チェックボックス
⑨	保存ボタン	⑩	新規登録ボタン	⑪	追加登録ボタン	⑫	閉じるボタン

### 3.4. 類似検索画面



①	読み出し条件変更部	②	検索開始ボタン	③	表示形式変更部	④	表示順変更部
⑤	検知情報表示部	⑥	検索結果表示部	⑦	全て選択／解除 チェックボックス	⑧	同一人物として登録 チェックボックス
⑨	保存ボタン	⑩	新規登録ボタン	⑪	追加登録ボタン	⑫	閉じるボタン

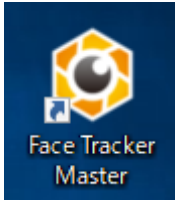
### 3.5. 個人データ一覧画面



①	絞り込み条件 変更部	②	絞り込みボタン	③	個人データ 表示部	④	拠点データ 管理ボタン	⑤	拠点に登録 ボタン
⑥	編集ボタン	⑦	追加ボタン	⑧	削除ボタン	⑨	閉じるボタン		

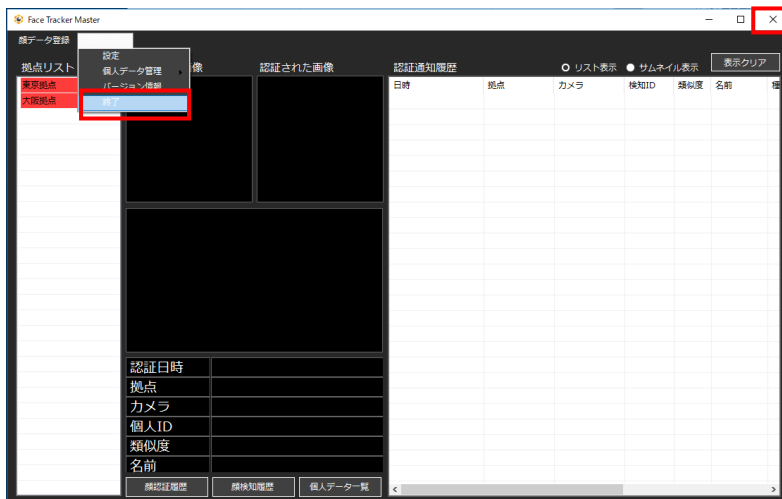
#### 4. Face Tracker Master を起動する

PC の電源を入れ Windows が起動後、デスクトップにある Face Tracker Master のショートカットアイコンをダブルクリックしアプリケーションを起動してください。



#### 5. Face Tracker Master を終了する

Face Tracker Master を終了する時は、画面右上の“×”ボタンを押下するか、メニューバーから「オプション」をクリックし、表示されたメニューから「終了」を選択します。





## 6. マスター連携機能を使用する

---

Face Tracker Master は Face Tracker と通信をすることで、顔認証・顔検知した結果の受け取りや、接続されている Face Tracker に登録されている個人データの管理ができます。

マスター連携機能を使用するには、6.1 からの設定方法を参照し Face Tracker Master、及び Face Tracker それぞれで接続設定を行ってください。

Face Tracker Master と Face Tracker を接続すると、自動的に Face Tracker に保存されている全ての顔認証履歴、及び顔検知履歴を Face Tracker Master に同期します。

個人データは自動取得されませんので、個人データを取得したい場合は、「9.1.3. 拠点から個人データを取得する」をご参照ください。

### 6.1. Face Tracker Master の設定

Face Tracker Master での設定については、「17.2. 拠点の設定」をご参照ください。

## 6.2. Face Tracker の設定

Face Tracker でマスター連携の設定値の変更は、メニューバーから「各種設定」をクリックし、「マスター連携」画面から行います。



各設定値の内容は以下の通りです。

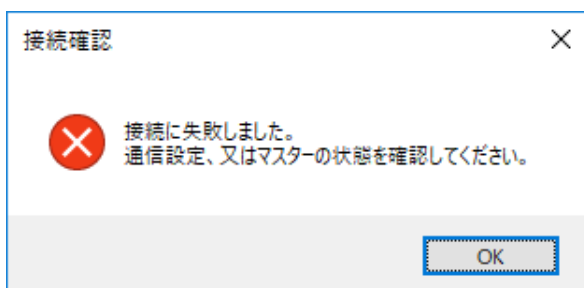
マスターと接続する	マスター連携機能を使用する場合、チェックをオンにしてください。 ※マスター連携機能を使用しない場合はチェックをオフにご利用ください。
サーバアドレス	Face Tracker Master がインストールされている PC の IP アドレスを設定してください。
通知通信ポート	Face Tracker Master で設定した通知通信ポートと同じ番号を設定してください。 デフォルトでは「50051」になります。 ※通常変更する必要はありません。
データ通信ポート	Face Tracker Master で設定したデータ通信ポートと同じ番号を設定してください。 デフォルトでは「50052」になります。 ※通常変更する必要はありません。
同期通信ポート	Face Tracker Master で設定した同期通信ポートと同じ番号を設定してください。 デフォルトでは「50053」になります。 ※通常変更する必要はありません。
拠点番号	Face Tracker Master で設定した拠点番号と対応します。 Face Tracker Master で設定した拠点番号を設定してください。

全ての設定が完了したら“接続確認”ボタンを押下してください。

「接続が確認できました。」というメッセージが表示され、設定した拠点名称が表示されれば設定完了です。



「接続に失敗しました。」と表示された場合は、Face Tracker Master、及び Face Tracker の設定を見直し正しく設定してください。



## 7. 拠点の状態を監視する

Face Tracker Master では登録されている Face Tracker の接続状態を監視することができます。メイン画面左側の拠点リストにて、正常に接続されている拠点は緑色、接続が切れている拠点は赤色で表示されます。



## 8. 拠点から検知・認証履歴をリアルタイムで受け取る

Face Tracker Master では、Face Tracker で顔認証・顔検知した結果をリアルタイムで受信し、メイン画面右側の認証通知履歴欄に表示することができます。

認証通知はデフォルトでは 100 件まで表示されます。(設定で 1~1000 件まで変更ができます。)

認証通知の表示件数の設定方法は、「17.1. アプリケーションの設定」をご参照ください。

“表示クリア” ボタンを押下することで、認証履歴通知欄をクリアすることができます。

また、“表示形式変更” ボタンを操作することで、リスト表示とサムネイル表示を切り替えることができます。



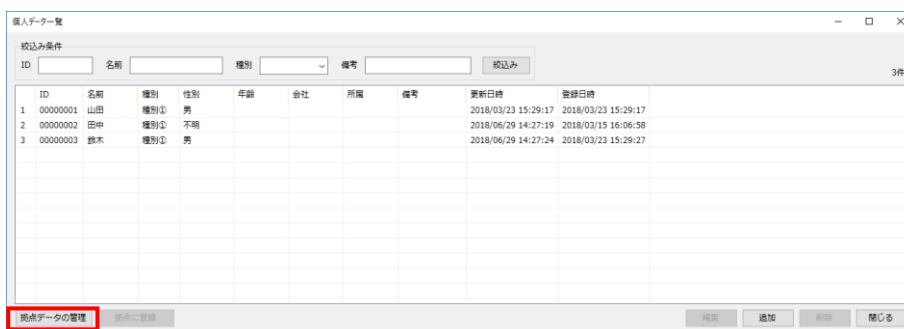
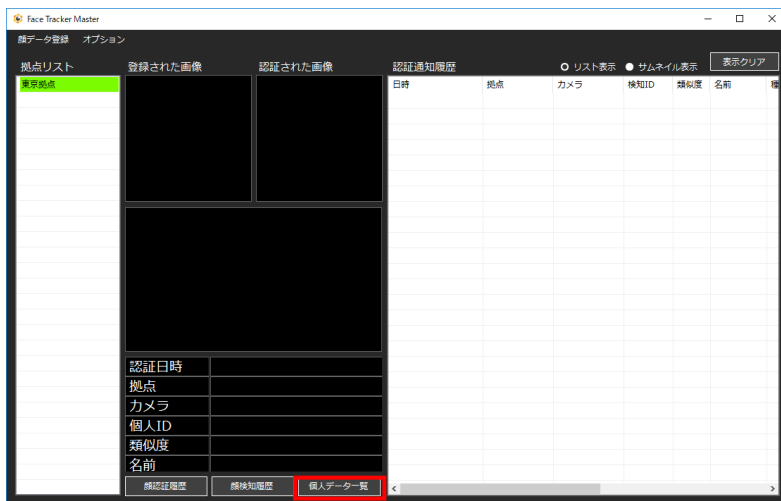
## 9. 拠点の個人データの管理をする

Face Tracker Master では、接続されている Face Tracker に登録されている個人データの管理をすることができます。

※Face Tracker で「登録された顔データの編集」画面を表示している時は、その拠点に対して個人データの管理は行えません。

### 9.1. 拠点に登録されているデータを管理する

拠点に登録されている個人データを管理するためには、メイン画面から“個人データ一覧”ボタンを押下します。



「個人データ一覧」画面が表示されたら“拠点データの管理”ボタンを押下します。

拠点個人データ管理

拠点	個人データ										3件
東京拠点	ID	名前	種別	性別	年齢	会社	所属	備考	更新日時	登録日時	
	1	00000001	山田	種別①	男					2018/03/23 15:29:17	2018/03/23 15:29:17
	2	00000002	田中	種別①	不明					2018/06/29 14:27:19	2018/03/15 16:06:58
	3	00000003	鈴木	種別①	男					2018/06/29 14:27:24	2018/03/23 15:29:27

同一データ  
 新規データ  
 不一致データ (マスターが新)  
 不一致データ (拠点が新)  
 同一データを表示しない

削除 編集 取得

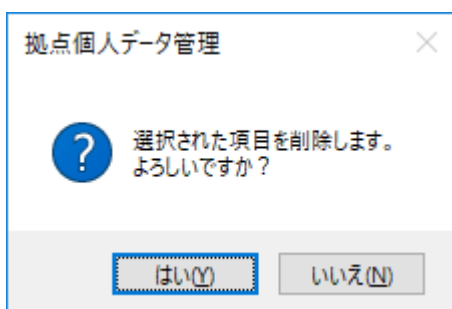
閉じる

編集したい個人データが保存されている拠点と、個人データをそれぞれ選択し、“削除” ボタン、“編集” ボタン、“取得” ボタンのいずれかのボタンを押下します。

### 9.1.1. 拠点の個人データを削除する

Face Tracker Master から拠点の Face Tracker に登録されている個人データを削除するためには、「拠点個人データ管理」画面で“削除” ボタンを押下します。

確認画面が表示で“はい” ボタンを押下すると選択した拠点に登録されている個人データが削除されます。



### 9.1.2. 拠点の個人データを編集する

Face Tracker Master から拠点の Face Tracker に登録されている個人データの内容を編集するためには、「拠点個人データ管理」画面で“編集”ボタンを押下します。

顔画像を削除したい場合は、削除したい顔画像を選択して“選択を削除”ボタンを押下してください。

“適用”ボタンを押下すると編集を完了します。

※ID を変更することはできません。

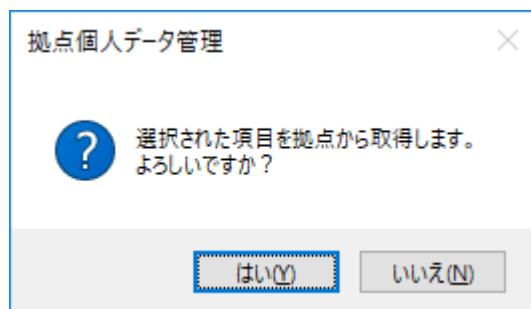
個人情報の詳細は「13. 個人データの内容を編集する」をご参照ください。



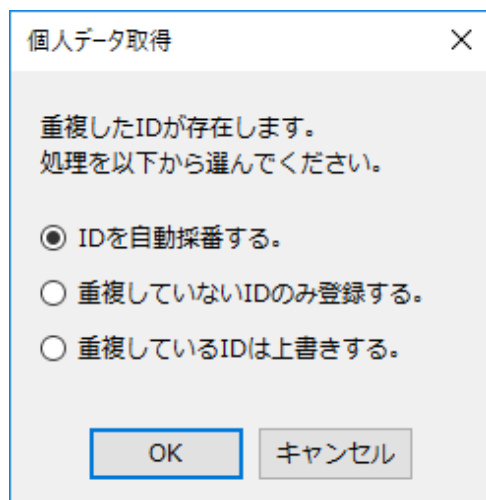
### 9.1.3. 拠点から個人データを取得する

拠点の Face Tracker に登録されている個人データを、Face Tracker Master に登録するためには、「拠点個人データ管理」画面で“取得”ボタンを押下します。

「拠点個人データ管理」画面で“はい”ボタンを押下すると選択した拠点の個人データを取得します。

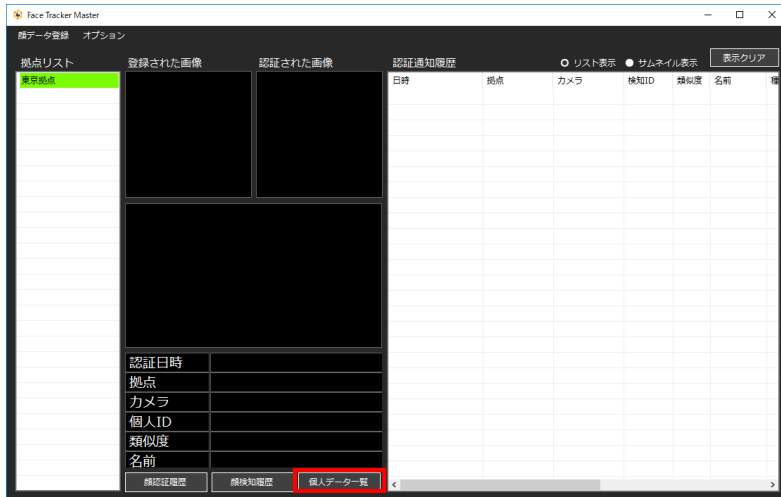


以下の画面が表示されたら、ID が重複した場合の処理を選択し、“OK” ボタンを押下してください。

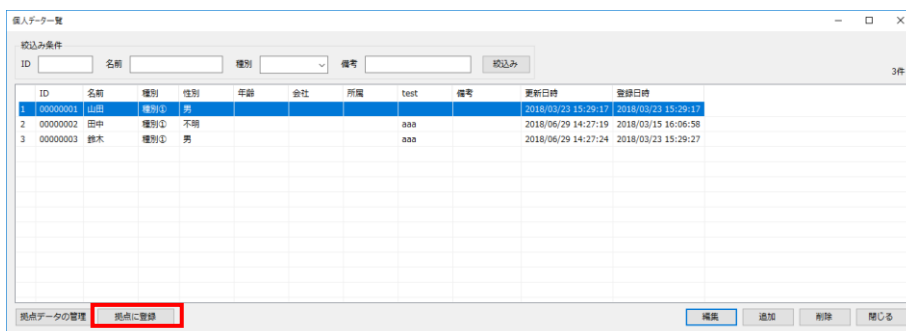


## 9.2. 拠点へ Face Tracker Master のデータを登録する

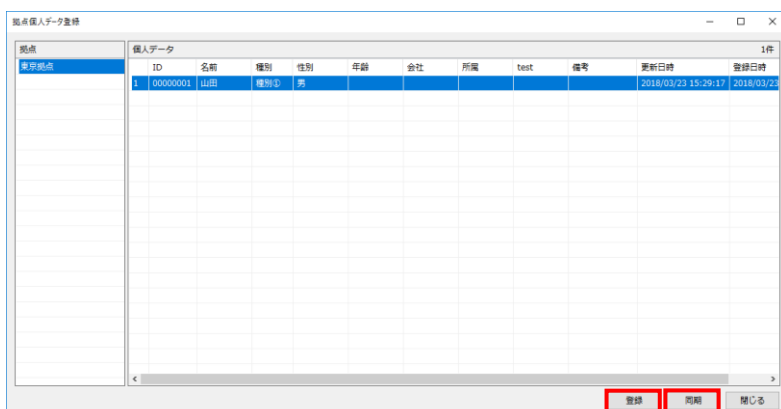
拠点の Face Tracker へ Face Tracker Master に登録されている個人データを登録するには、メイン画面から“個人データ一覧”ボタンを押下します。



拠点へ登録したい個人データを選択し“拠点へ登録”ボタンを押下してください。



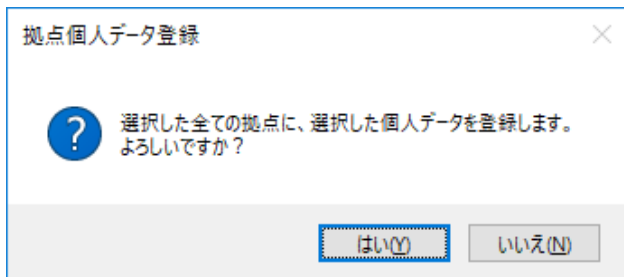
「拠点個人データ登録」画面が表示されたら、登録したい拠点と個人データを選択し、“登録”ボタン、又は“同期”ボタンを押下してください。



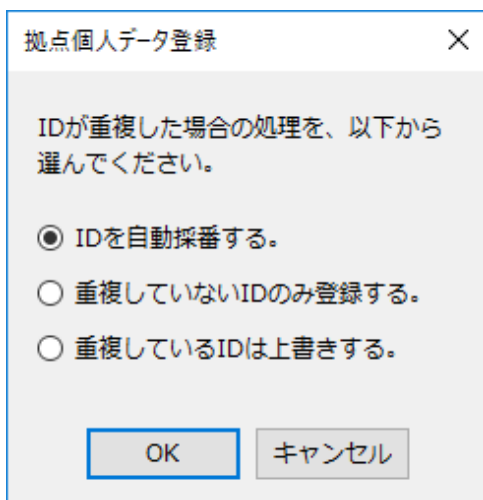
### 9.2.1. 拠点へ個人データを登録する

Face Tracker Master に保存されている個人データを拠点の Face Tracker に登録するには、「拠点個人データ登録」画面で“登録”ボタンを押下します。

確認画面で“はい”ボタンを押下すると、選択した拠点へ個人データの登録が完了します。



以下の画面が表示されたら、ID が重複した場合の処理を選択し、“OK” ボタンを押下してください。

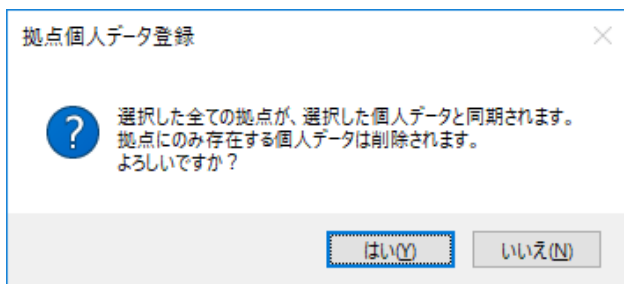


### 9.2.2. 拠点へ個人データを同期する

Face Tracker Master に保存されている個人データを拠点の Face Tracker に同期するには、「拠点個人データ登録」画面で“同期” ボタンを押下します。

注：個人データの同期を行った場合、同期した個人データ以外の全ての個人データが拠点の Face Tracker から削除されますので注意してください。

確認画面で“はい” ボタンを押下すると、選択した拠点へ個人データの同期が完了します。

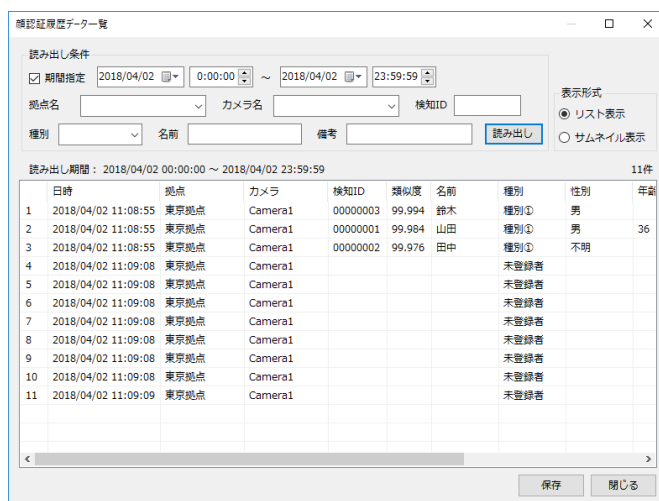
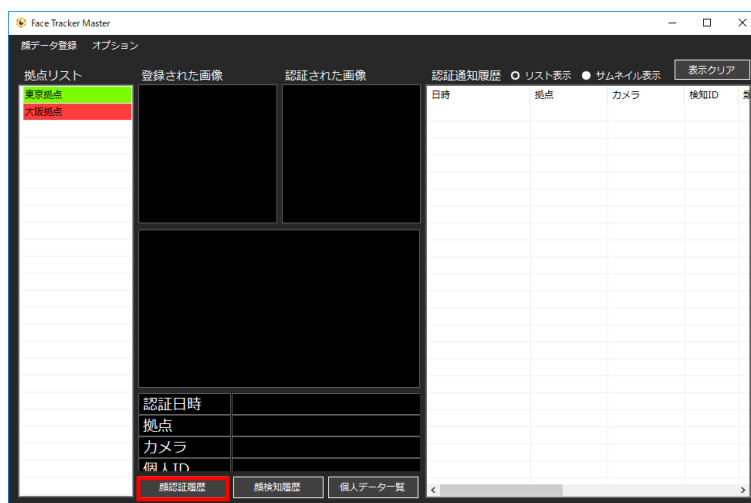


## 10. 顔認証履歴を確認する

Face Tracker Master では、接続されている Face Tracker で顔認証した結果を一覧で表示することができます。

### 10.1. 顔認証履歴を表示する

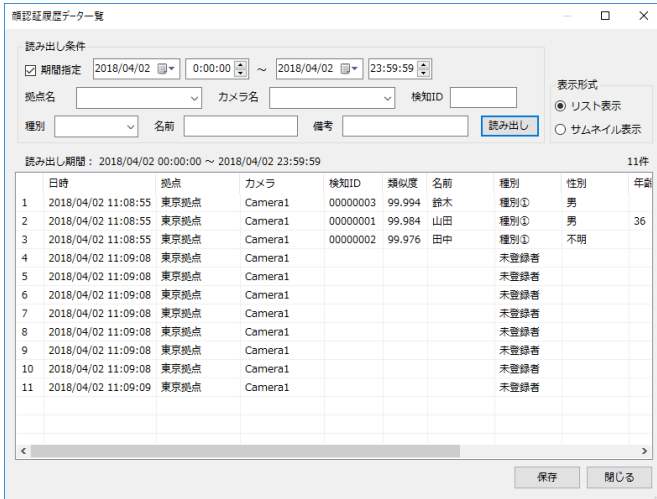
顔認証履歴を表示するためには、メイン画面から“顔認証履歴”ボタンを押下します。



「顔認証履歴データ一覧」画面が表示されたら、“読み出し”ボタンを押下して認証履歴を読み出します。また、読み出し条件変更部から条件を指定して認証履歴を読み出すことも可能です。

表示形式変更部から履歴の表示方法を変更することができます。

### リスト表示

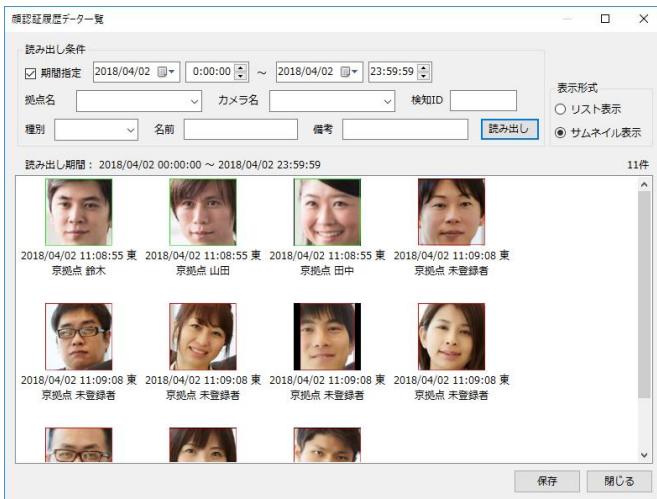


履歴確認画面の検索条件と検索結果のリスト表示形式。

検索条件: 2018/04/02 00:00:00 ~ 2018/04/02 23:59:59

日時	拠点	カメラ	検知ID	類似度	名前	種別	性別	年齢
2018/04/02 11:08:55	東京拠点	Camera1	00000003	99.994	鈴木	種別①	男	
2018/04/02 11:08:55	東京拠点	Camera1	00000001	99.984	山田	種別①	男	36
2018/04/02 11:08:55	東京拠点	Camera1	00000002	99.976	田中	種別①	不明	
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:08	東京拠点	Camera1				未登録者		
2018/04/02 11:09:09	東京拠点	Camera1				未登録者		

### サムネイル表示



履歴確認画面の検索条件と検索結果のサムネイル表示形式。

検索条件: 2018/04/02 00:00:00 ~ 2018/04/02 23:59:59

サムネイル表示の検索結果:

- 2018/04/02 11:08:55 東京拠点 鈴木
- 2018/04/02 11:08:55 東京拠点 山田
- 2018/04/02 11:08:55 東京拠点 田中
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:08 東京拠点 未登録者
- 2018/04/02 11:09:09 東京拠点 未登録者

## 10.2. 顔認証履歴リストを保存する

Face Tracker Master では Face Tracker で認証した情報を CSV 形式で保存することができます。

顔認証履歴リストを保存するには、顔認証履歴データ一覧画面で“保存”ボタンを押下すると、ファイル保存ダイアログが表示されますので、CSV ファイル名を指定して、“OK”ボタンを押下してください。CSV ファイルは以下の形式で保存されます。

日時,拠点,カメラ,検知 ID,類似度,名前,種別, 性別,年齢,会社,所属,備考,認証画像,登録画像,全体画像

CSV ファイルを保存したフォルダと同じフォルダに、CSV ファイルと同名のフォルダが自動で生成され、その中に JPEG ファイルが保存されます。JPEG ファイル名は自動で命名され、CSV ファイル内の画像の項目にファイル名が書かれます。

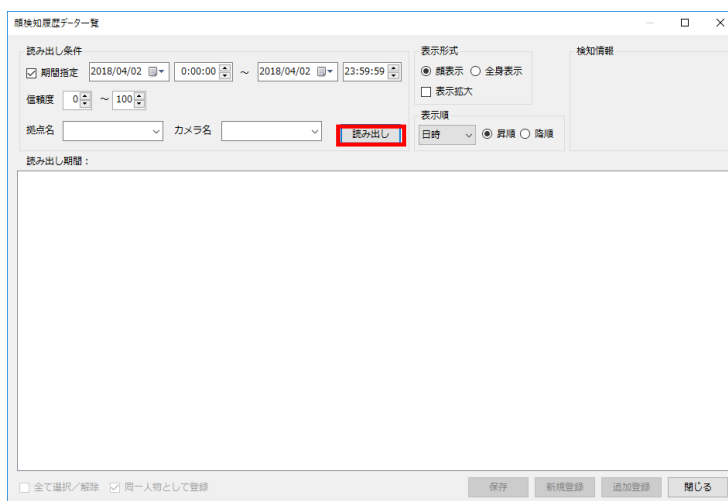
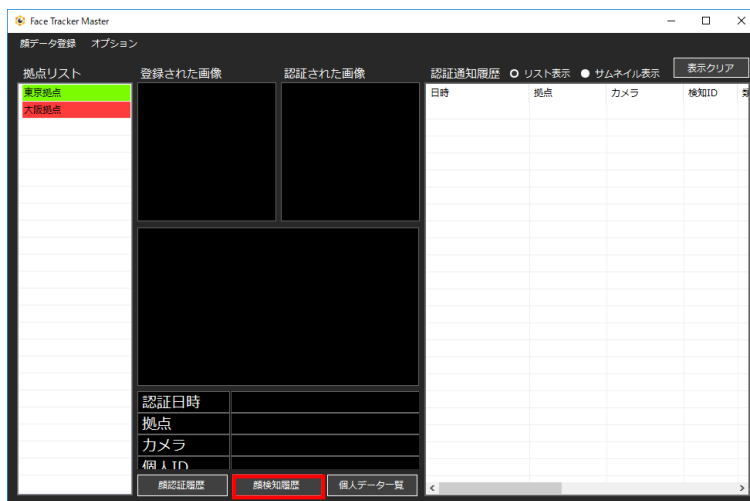
大量のデータを一気に保存しようとした場合、時間がかかる場合がありますので注意してください。

## 11. 顔検知履歴を確認する

Face Tracker Master では、接続されている Face Tracker で顔検知した結果を一覧で表示することができます。

### 11.1. 顔検知履歴を表示する

「顔検知履歴データ一覧」画面を表示するには、メイン画面から“顔検知履歴”ボタンを押下します。



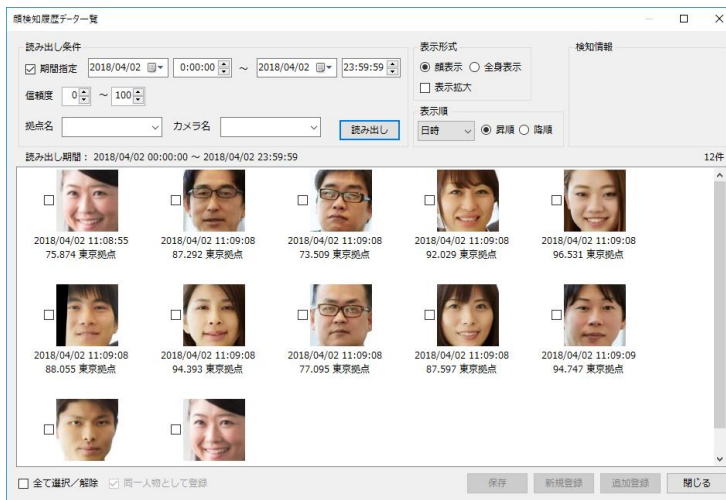
顔検知履歴データ一覧画面が表示されたら、“読み出し”ボタンを押下して顔検知履歴を読み出します。また、読み出し条件変更部から条件を指定して顔検知履歴を読み出すことも可能です。



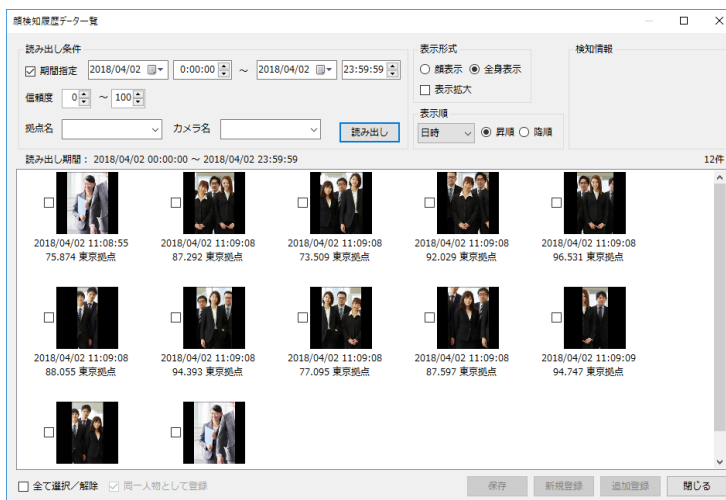
表示形式変更部から履歴の表示方法を変更することができます。

また、「表示拡大」のチェックをオンにすることで、画像を拡大して表示することができます。

## 顔表示



## 全身表示



## 11.2. 顔検知リストを保存する

Face Tracker Master では Face Tracker で検知した情報を CSV 形式で保存することができます。

顔検知履歴リストを保存するには、「顔検知履歴データ一覧」画面で保存するデータを選択するか、「全て選択／解除」のチェックをオンにして保存するデータを選択します。

保存するデータを選択後、“保存” ボタンを押下すると、ファイル保存ダイアログが表示されますので、CSV ファイル名を指定して、“OK” ボタンを押下してください。CSV ファイルは以下の形式で保存されます。

検知日時,信頼度,顔画像,全身画像

CSV ファイルを保存したフォルダと同じフォルダに、CSV ファイルと同名のフォルダが自動で生成され、その中に JPEG ファイルが保存されます。JPEG ファイル名は自動で命名され、CSV ファイル内の画像の項目にファイル名が書かれます。

大量のデータを一気に保存しようとした場合、時間がかかる場合がありますので注意してください。

## 11.3. 検知履歴から類似した顔を探す

選択した顔に類似した顔を検知履歴の中から検索することができます。対象となるデータを右クリックし、表示されたメニューから「類似検索」を選択します。



「類似検索」画面が表示されますので、検索条件を指定して“検索開始”ボタンを押下してください。

登録したい顔データを選択し、新規に顔を登録する場合は“新規登録”ボタン、既に登録されている個人データに顔を追加する場合は“追加登録”ボタンを押下します。又は、登録したい顔を右クリックして、表示されたメニューから「新規登録」、「追加登録」を選択してください。

新規登録を行う場合は「12.4. 新規に顔を登録する」を、個人データに顔を追加する場合は「12.5. すでに登録されているデータに顔を登録する」をご参照ください。

複数の顔を選択した状態で「同一人物として登録」のチェックをオフにして登録を行った場合、選択した画像の枚数分登録を繰り返します。

## 12. 顔を登録する

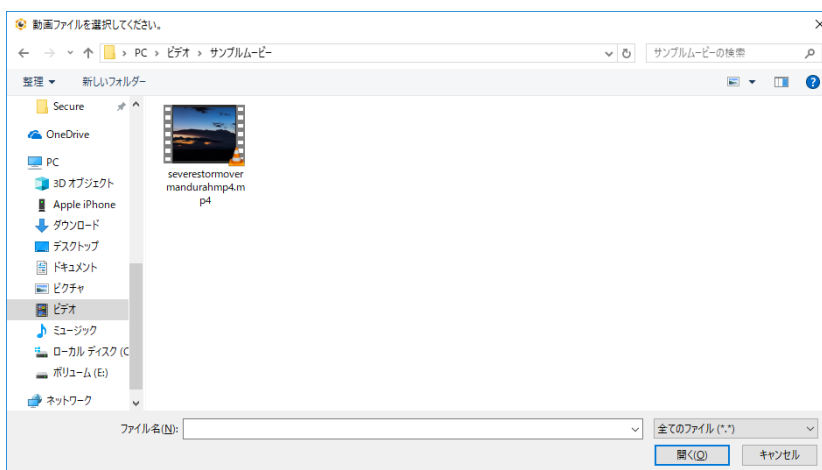
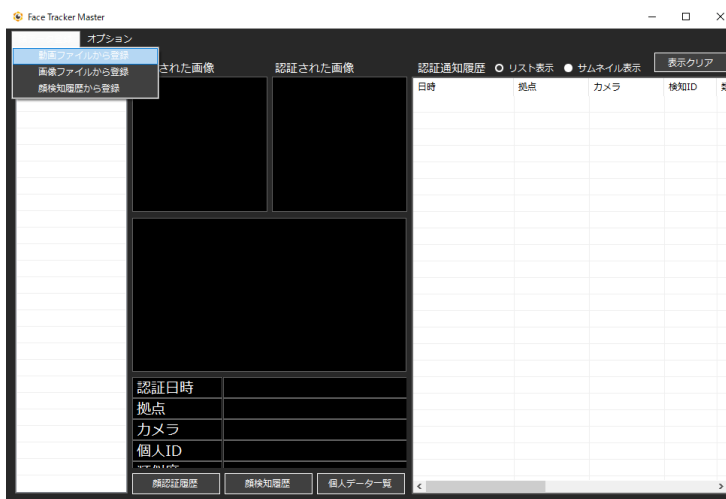
顔を登録を行うには、動画ファイルから、画像ファイルから、顔検知履歴からの3種類の登録方法があります。

登録する顔の選び方については、「12.6. 顔登録のコツ」をご参照ください。

### 12.1. 動画ファイルから顔を登録する

動画ファイルから顔を登録することができます。

動画ファイルから顔を登録するには、メニューバーの「顔データ登録」をクリックし、表示されたメニューから「動画ファイルから登録」を選択します。



ファイル選択ダイアログにて、任意の動画ファイルを選択して“開く”ボタンを押下します。



顔が検知された状態で“登録”ボタンを押下します（登録が難しい場合は一時停止した状態で行ってください）。



この時、選択した顔を同一人物として登録するか、別々のデータとして登録するかを、「同一人物として登録」のチェックをオン/オフにすることで選択できます。

検知した顔の一覧が表示されるので、登録したい顔をチェックして、新規に顔を登録する場合は“新規登録”ボタン、既に登録されている個人データに顔を追加する場合は“追加登録”ボタンを押下します。

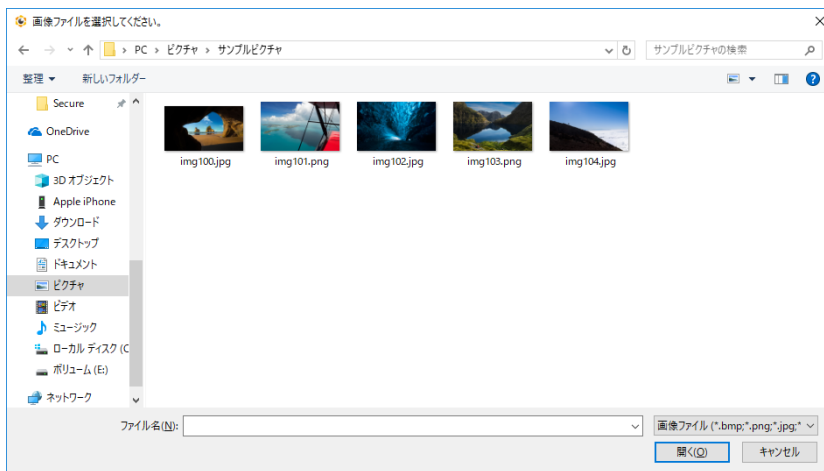
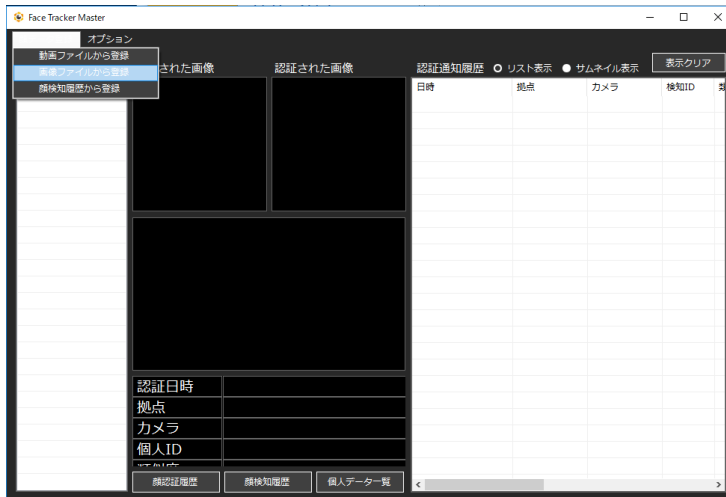
新規登録を行う場合は「12.4. 新規に顔を登録する」を、個人データに顔を追加する場合は「12.5. すでに登録されているデータに顔を登録する」をご参照ください。

複数の顔を選択した状態で、「同一人物として登録」のチェックをオフにして登録を行った場合、選択した画像の枚数分登録を繰り返します。

## 12.2. 画像ファイルから顔を登録する

画像ファイルから顔を登録することができます。

画像ファイルから顔を登録するには、メニューバーの「顔データ登録」をクリックし、表示されたメニューから「画像ファイルから登録」を選択します。



ファイル選択ダイアログにて、任意の画像ファイルを選択して“開く”ボタンを押下します。



顔が検知された状態で“登録”ボタンを押下します。



この時、選択した顔を同一人物として登録するか、別々のデータとして登録するかを、「同一人物として登録」のチェックをオン/オフにすることで選択できます。

検知した顔の一覧が表示されるので、登録したい顔をチェックして、新規に顔を登録する場合は“新規登録”ボタン、既に登録されている個人データに顔を追加する場合は“追加登録”ボタンを押下します。

新規登録を行う場合は「12.4. 新規に顔を登録する」をご参照ください。

個人データに顔を追加する場合は「12.5. すでに登録されているデータに顔を登録する」をご参照ください。

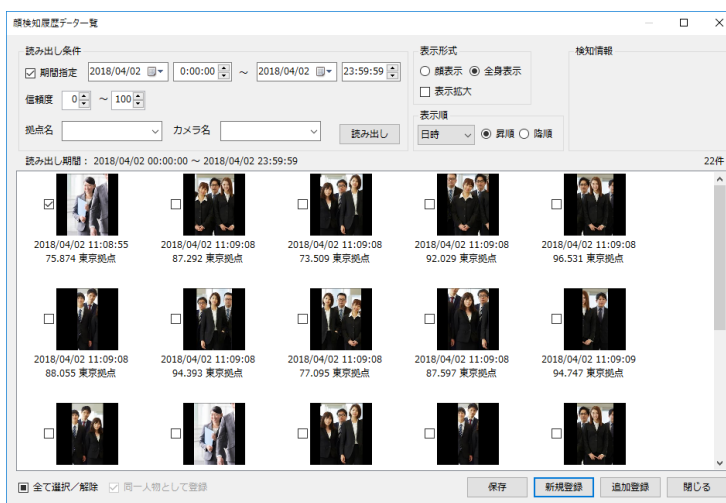
複数の顔を選択した状態で、「同一人物として登録」のチェックをオフにして登録を行った場合、選択した画像の枚数分登録を繰り返します。

### 12.3. 顔検知履歴から顔を登録する

顔検知履歴から顔を登録するには、メニューバーの「顔データ登録」をクリックし、表示されたメニューから「顔検知履歴から登録」を選択するか、メイン画面から“顔検知履歴”ボタンを押下します。

「顔検知履歴データ一覧」画面が表示されますので、登録したい顔を選択するか、「全て選択／解除」のチェックをオンにして、登録したい顔データを選択します。

この時、選択した顔を同一人物として登録するか、別々のデータとして登録するかを、「同一人物として登録」のチェックをオン／オフにすることで選択できます。



登録したい顔データを選択し、新規に顔を登録する場合は“新規登録”ボタン、既に登録されている個人データに顔を追加する場合は“追加登録”ボタンを押下します。又は、登録したい顔を右クリックして、表示されたメニューから「新規登録」、「追加登録」を選択してください。

新規登録を行う場合は「12.4. 新規に顔を登録する」を、個人データに顔を追加する場合は「12.5. すでに登録されているデータに顔を登録する」をご参照ください。

複数の顔を選択した状態で「同一人物として登録」のチェックをオフにして登録を行った場合、選択した画像の枚数分登録を繰り返します。



## 12.4. 新規に顔を登録する

各画面で“新規登録”ボタンを押下すると「データ登録」画面が表示されます。

データ登録 (新規)

ID	00000037
名前	
種別	種別①
生年月日	2018年 6月28日
所属	
test	
備考	

OK キャンセル

個人情報を入力し、“OK”ボタンを押下すると登録が完了します。

IDは自動で採番されますが、任意に変更することもできます。なお、既に登録済みのIDは使用できません。

個人情報の詳細については、「13. 個人データの内容を編集する」をご参照ください。

## 12.5. すでに登録されているデータに顔を登録する

各画面で“追加登録”ボタンを押下すると「個人データ一覧」画面が表示されます。

ID	名前	種別	生年月日	所属	test	備考	更新日時	登録日時
00000001	山田	種別①	2018/06/28				2018/06/28 17:58:04	2018/03/23 15:29:17
00000002	田中	種別①	2018/06/28				2018/06/28 17:58:10	2018/03/15 16:06:58
00000003	鈴木	種別①	2018/05/30				2018/06/28 17:58:21	2018/03/23 15:29:27

顔を追加する個人データを選択し、“OK”ボタンを押下すると「データ登録」画面が表示されます。目的のデータが見つからない場合、条件を指定して表示するデータを絞り込むことができます。

データ登録 (追加)

ID: 00000001

名前: 山田

種別: 種別①

生年月日: 2018年 6月28日

所属:

test:

備考:

登録済みデータ

追加データ

OK キャンセル

データを確認し“OK”ボタンを押下すると登録が完了します。このときに個人情報を変更することも可能です。

## 12.6. 顔登録のコツ

顔の登録を行う際に以下の点に注意すると、認証の精度とレスポンスが向上します。

- なるべく正面に近い顔を登録する

横向きの顔を登録すると認証精度が落ちる場合があります。なるべくカメラの方を向いている顔を登録することをお勧めします。検知履歴から登録する場合は信頼度 90 以上を目安にしてください。

- あまりサイズの小さな顔を登録しない

あまりサイズの小さな顔を登録すると認証の精度が落ちる場合があります。90×90 ピクセル以上を目安にしてください。

- なるべく鮮明な画像を登録する

ピントの甘い顔やブレが出ている顔を登録すると認証の精度が落ちる場合があります。なるべく鮮明に映った顔を登録してください。

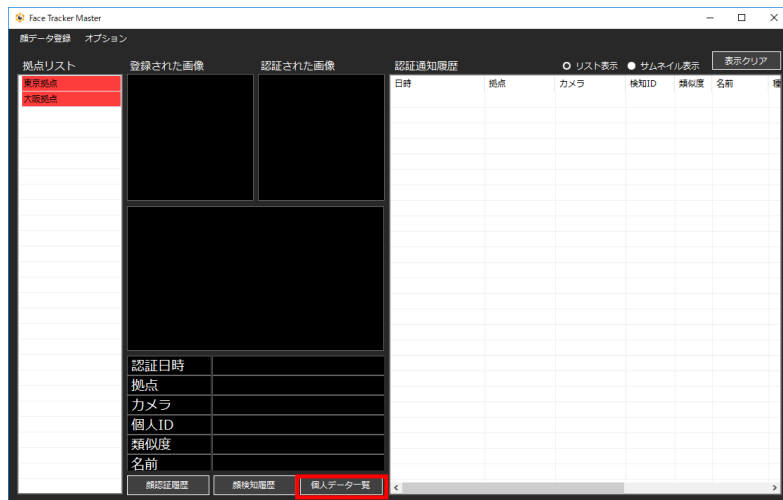
- 上向き／下向きの顔を登録する

認証エンジンは左右方向よりも上下方向の変化に影響されます。上向き・中央・下向きの 3 種類の顔を登録すると認証のレスポンスが大きく向上します。目安は 20 度前後です。

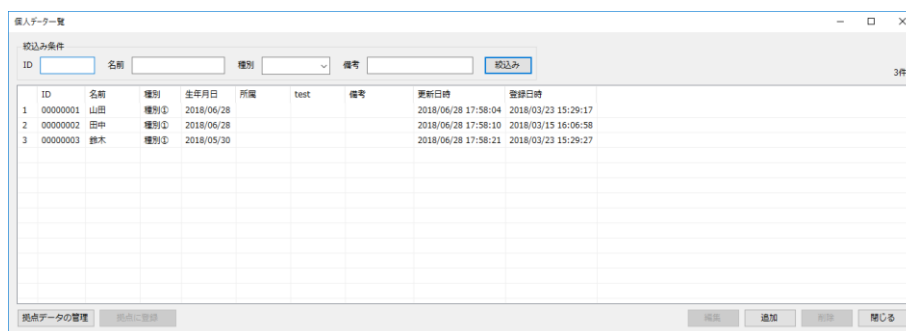
### 13. 個人データの内容を編集する

Face Tracker Master では顔データと、その顔に紐づく個人情報で構成されている個人データを編集することができます。

個人データの編集を行うには、メイン画面の“個人データ一覧” ボタンを押下し、「個人データ一覧」画面から操作を行います。



「個人データ一覧」では登録されている個人データを確認することができます。また、条件を指定して表示するデータを絞り込むこともできます。



リストから編集したいデータを選択し“編集”ボタンを押下するか、編集したいデータをダブルクリックすると「個人データ編集」画面が開き、個人データの編集ができます。

また、“削除”ボタンを押下することで選択されているデータを削除することができます。

顔画像を削除したい場合は、削除したい顔画像を選択して“選択を削除”ボタンを押下してください。

“適用”ボタンを押下すると編集を完了します。

※ID を変更することはできません。

編集できる個人データの項目は以下の通りです。

<b>ID</b>	00000000～99999999 のまでの値が自動で採番されます。 新規登録時のみ値を変更することが可能です。 可能な文字数は、ASCII 文字 8 桁以下です。
<b>名前</b>	名前を登録します。 可能な文字数は、全角／半角 20 文字以下です。
<b>種別</b>	種別を登録します。 ドロップダウンメニューから選択します。
<b>性別</b>	性別を登録します。 ドロップダウンメニューから、女性／男性／不明の 3 種類から選択します。
<b>年齢</b>	年齢を登録します。 可能な文字数は、全角／半角 200 文字以下です。
<b>会社</b>	会社名を登録します。 可能な文字数は、全角／半角 200 文字以下です。
<b>所属</b>	所属名を登録します。 可能な文字数は、全角／半角 200 文字以下です。
<b>備考</b>	任意で登録したい項目を入力します。 可能な文字数は、全角／半角 200 文字以下です。

性別、年齢、会社、所属はカスタム項目のデフォルトで設定されている項目になります。

カスタム項目設定から編集、又は削除が可能です。詳しくは「14.4. カスタム項目を管理する」をご参照ください。

1つの個人データに対して、複数の顔を登録することができます。登録できる顔の数に制限はありませんが、3～10 件程度を目安にしてください。

また、登録できる個人データの数にも特に制限はありませんが、あまり多くの顔を登録すると別人を認証してしまう確率が上がってしまいます。1000 件程度を目安にしてください。

## 14. 登録されているデータの管理をする

### 14.1. データをエクスポートする

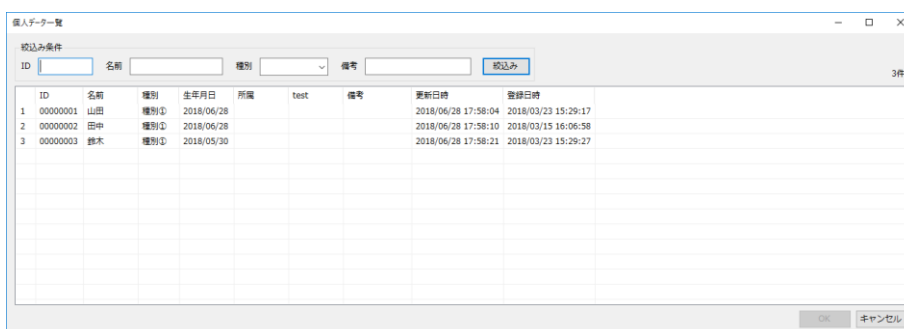
登録されている顔データをファイルに保存することができます。保存できるファイル形式は Face Tracker Master 独自形式(ftpd 形式)、又は CSV 形式となります。

注：CSV 形式で個人データをエクスポートした場合、顔画像はエクスポートできませんので、注意してください。

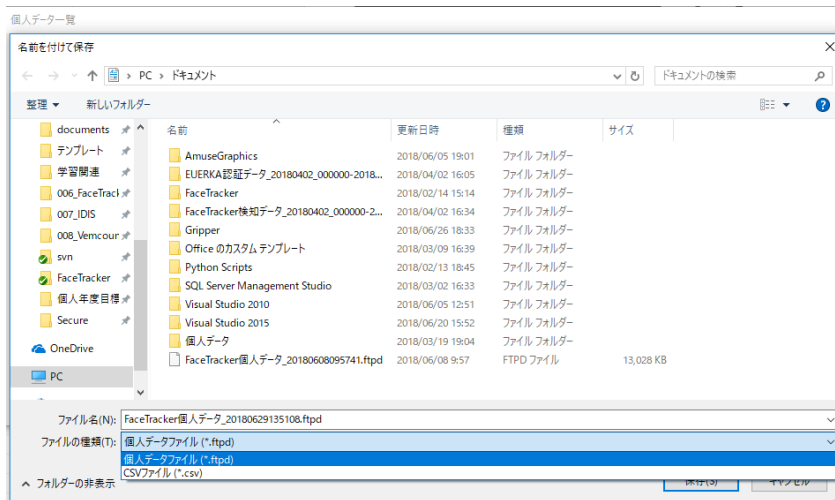
個人データをエクスポートするには、メイン画面のメニューバーから「オプション」をクリックし、「個人データ管理」を選択すると表示されるメニューから「エクスポート」を選択します。



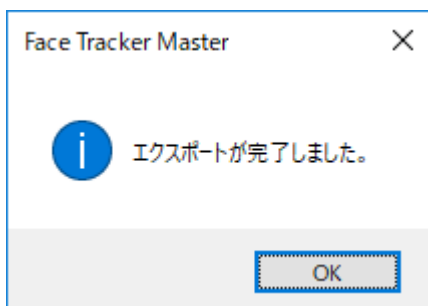
「データ選択」を選択することで、任意の選択した個人データのみエクスポートすることができます。その場合、「個人データ一覧」画面が表示され、エクスポートするデータを選択できます。



ファイル選択ダイアログが開くので、保存する場所を決めてから“保存”ボタンを押下し保存します。  
 ここで「ファイルの種類」ドロップダウンメニューからエクスポートする形式を選べます。



「エクスポートが完了しました。」と表示されたら、エクスポート成功です。





## 14.2. データをインポートする

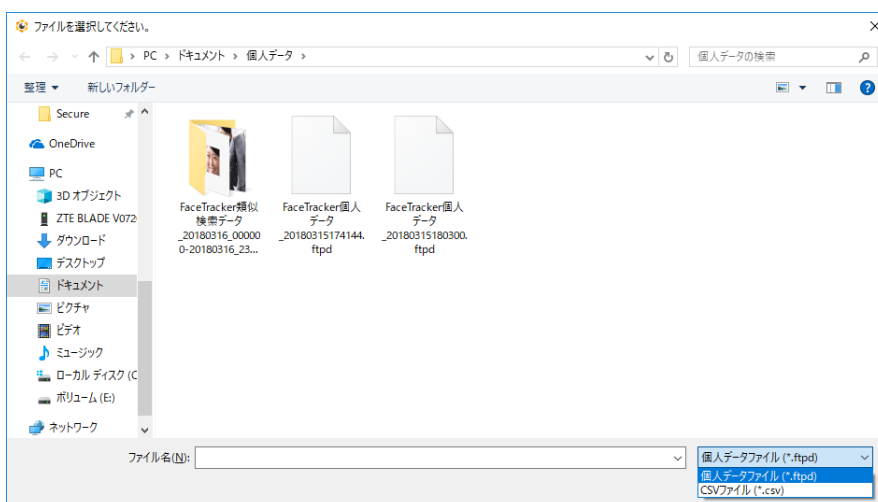
ファイルに保存されている Face Tracker Master の個人データをインポートすることができます。

個人データをインポートするには、メイン画面のメニューバーから「オプション」をクリックし、「個人データ管理」を選択すると表示されるメニューから「インポート」を選択します。

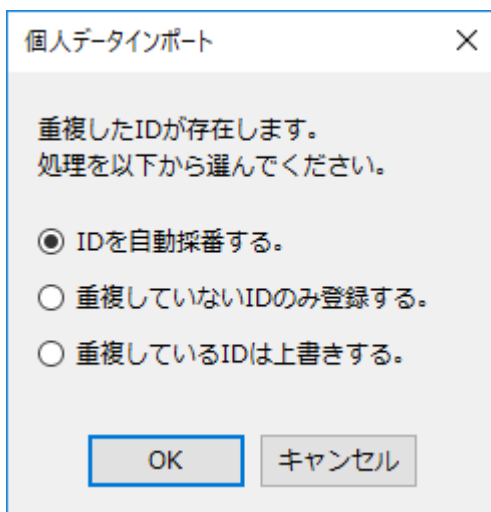


ファイル選択ダイアログが開くので、個人データファイルを選択して“開く”ボタンを押下します。ファイル名の横にあるドロップダウンメニューから、インポートする形式を選べます。

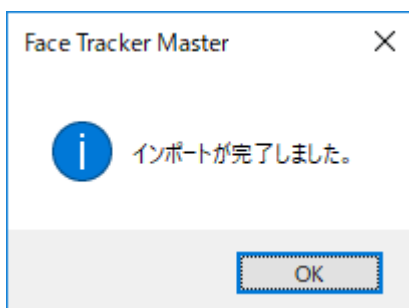
**注：CSV形式でインポートする場合、顔画像はインポートできませんので、注意してください。**



以下の画面が表示されたら、ID が重複した場合の処理を選択し、“OK” ボタンを押下してください。



「インポートが完了しました。」と表示されたらインポート成功です。

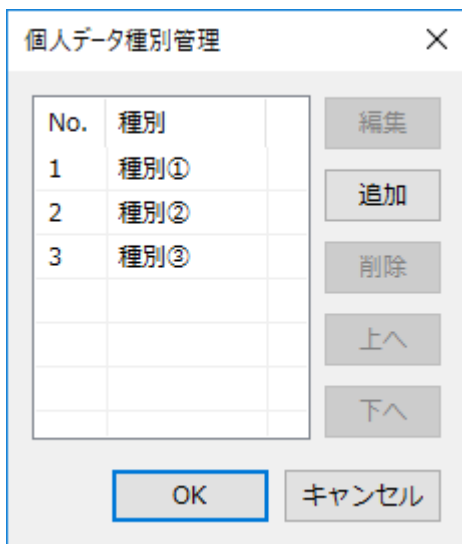


### 14.3. 種別を管理する

Face Tracker Master に登録されている個人データを分類する種別の管理が行えます。

Face Tracker に登録されている種別の管理は行えませんのでご注意ください。

種別を管理するには、メイン画面のメニューバーから「オプション」をクリックし、「個人データ管理」を選択すると表示されるメニューから「種別管理」を選択します。

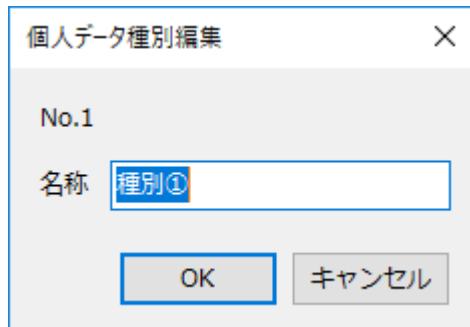


“編集” ボタンを押下すると登録されている種別の編集、“追加” ボタンを押下すると新しく種別を追加することができます。種別は最大で 20 種類まで登録が可能です。

“削除” ボタンを押下すると選択されている種別を削除することができます。

また、“上へ” “下へ” ボタンを押下すると種別が表示される順番を入れ替えることができます。

“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「個人データ種別編集」画面が表示されます。



個人データ種別編集

No.1

名称 種別①

OK キャンセル

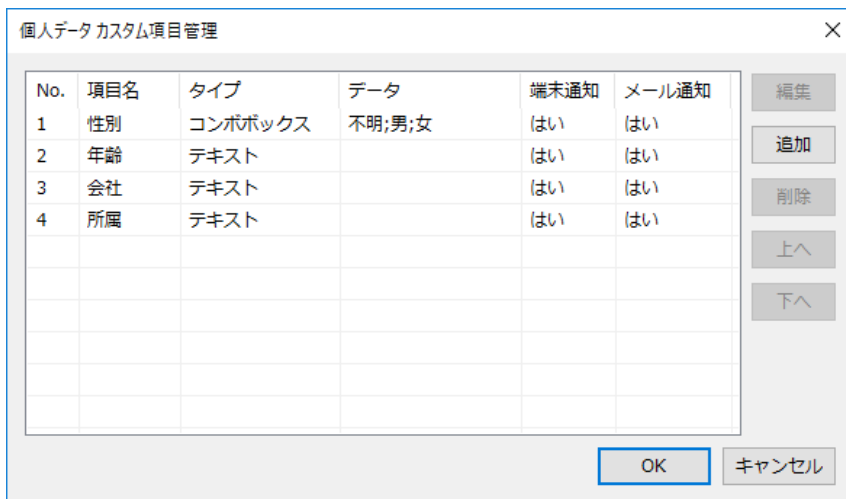
名称には画面上に表示される種別の名称を設定します。最大で 20 文字まで入力することができます。すでに登録されている名称と同じ名称は登録ができませんので、注意してください。

#### 14.4. カスタム項目を管理する

Face Tracker Master に登録されているカスタム項目の編集が行えます。

Face Tracker に登録されているカスタム項目の管理は行えませんのでご注意ください。

カスタム項目を管理するには、メイン画面のメニューバーから「オプション」をクリックし、「個人データ管理」を選択すると表示されるメニューから「カスタム項目管理」を選択します。

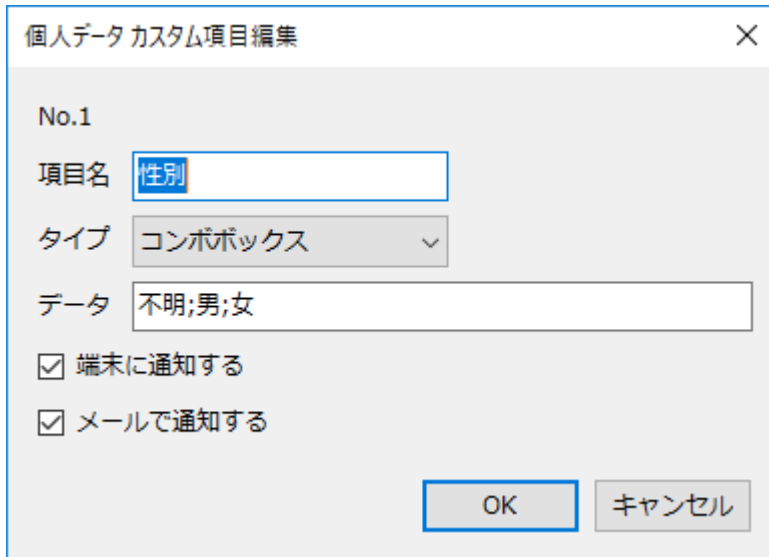


“編集” ボタンを押下すると登録されているカスタム項目の編集、“追加” ボタンを押下すると新しくカスタム項目を追加することができます。種別は最大で 10 種類まで登録が可能です。

“削除” ボタンを押下すると選択されているカスタム項目を削除することができます。

また、“上へ” “下へ” ボタンを押下するとカスタム項目が表示される順番を変更することができます。

“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「個人データカスタム項目編集」画面が表示されます。



各設定項目の内容は以下の通りです。

項目名	カスタム項目の名称を設定します。 項目名は最大で 20 文字まで入力可能です。
タイプ	テキスト形式、コンボボックス形式、チェックボックス形式、日付形式の中から入力タイプを設定します。
データ	テキスト形式の時の個人データ登録時の初期値、コンボボックス形式の時のコンボボックスの中身、及びチェックボックス形式の時のタイトルを設定します。 データは全体で 200 文字まで入力可能です。 コンボボックスのデータは、「; (半角セミコロン)」区切りで入力してください。
端末に通知するチェックボックス	このチェックを外すと、チェックを外したカスタム項目は端末に通知されません。
メールで通知するチェックボックス	このチェックを外すと、チェックを外したカスタム項目はメールで通知されません。

## 15. Face Tracker Master から通知を行う

---

Face Tracker Master では、音声通知、メール通知の 2 種類の通知方法が用意されています。

### 15.1. 音声通知機能を使う

音声通知を行う設定になっている場合、Face Tracker Master は Face Tracker から通知がきたタイミングで音声通知を行うことができます。通知音は種別ごとに個別に設定することができます。

設定の仕方については、「17.3. 通知音の設定」をご参照ください。

### 15.2. メール通知機能を使う

メール通知機能を行う設定になっている場合、Face Tracker Master は Face Tracker から通知がきたタイミングで設定してあるメールアドレス宛に認証通知メールを送信します。

メール通知を行う条件には、認証を行った拠点や種別を指定でき、条件ごとに別々の宛先に通知を行うことができます。

設定の仕方については、「17.4. メール通知の設定」をご参照ください。

注：メール通知機能を使う場合には、SMTP サーバーを用意する必要があります。

## 16. レコーダー連携機能を使う

---

Face Tracker Master では、顔認証履歴、及び顔検知履歴からレコーダーに録画された動画像を簡単に再生することが可能です。

なお、レコーダー連携機能を使用するには、弊社のレコーダーが設置されていて、レコーダー連携の設定がされている必要があります。レコーダー連携の設定方法は「17.5. レコーダー連携の設定」をご参照ください。

対応しているレコーダーは IDIS 製品の 4ch、又は 16ch のレコーダーのみになります。

顔認証詳細画面、顔検知詳細画面、又は類似検索画面から、履歴に対応するレコーダー映像を再生することができます。以下の手順に従って再生を行ってください。

### 16.1. 再生画面を呼び出す

顔認証詳細画面、顔検知詳細画面、又は類似検索画面の“レコーダー再生” ボタンを押下してください。「レコーダー再生」画面が表示され、検知時刻とカメラ名に対応するレコーダーの録画データが再生されます。

注1：レコーダー連携の設定が有効になっていない場合、「レコーダー再生」の項目は表示されません。

注2：カメラ名とレコーダーCAM 番号の紐付け設定がない場合、「レコーダー再生」の項目は選択できません。



## 16.2. 再生画面の使い方

「レコーダー再生」画面を使用して再生を行ってください。



### 16.2.1. 映像の自動再生機能

「レコーダー再生」画面が表示されたときに録画データの自動再生が行われます（設定画面からテスト接続を行った際は、自動再生は行われません）。自動再生される時間については設定画面で変更することが可能です。

### 16.2.2. 画面を分割表示する

“分割表示” ボタンを押下するとリストが表示されます。任意の分割方法を指定することで、再生画面を分割表示することができます。また、再生画面をダブルクリックすることでも分割表示に切り替えることができます。

### 16.2.3. カメラを切り替える

“カメラ切り替え” ボタンを押下すると表示するカメラを切り替えることができます。

#### 16.2.4. 映像を再生する

“再生” ボタンを押下すると録画データが再生されます。また、再生速度変更バーを動かすと、再生、逆再生、早送り、早戻しを行うことができます。

再生中は“再生” ボタンが“停止” ボタンに切り替わります。“停止” ボタンを押下すると再生を停止します。

#### 16.2.5. 再生日時を変更する

“再生位置移動” ボタンを押下すると任意の時間分前後に移動します。移動する時間は“1F” ボタンを押下するとリストが表示されますので、移動したい時間を指定することで変更できます。

決まった日時に移動したい場合は、“日時選択” ボックスに任意の日時を指定し“移動” ボタンを押下することで、指定した日時に移動します。

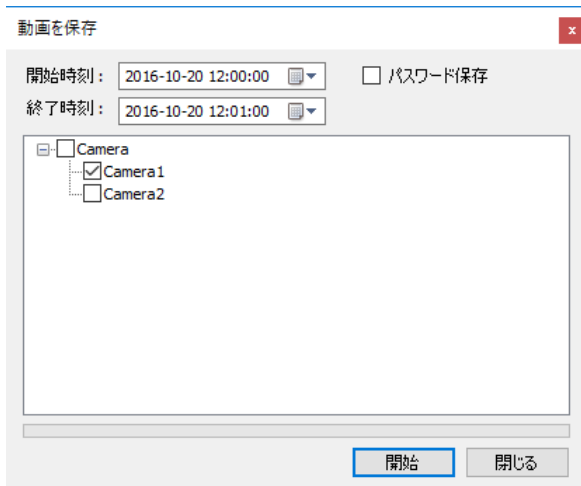
決まった日付に移動したい場合は、“日付選択” ボックスの任意の日付を選択すると、選択した日付に移動します。

また、タイムバー上をクリックし、赤いラインを移動することで、任意の時刻に移動できます。

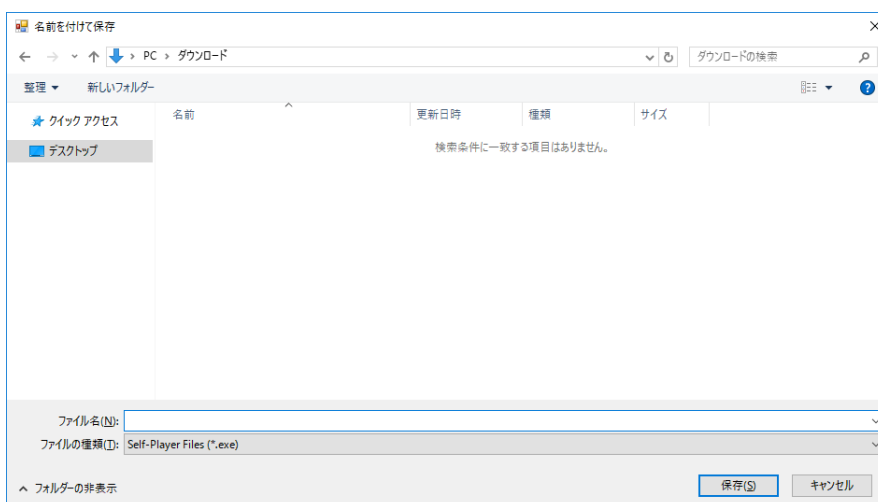
### 16.3. レコーダーの映像を保存する

録画データをファイルに保存することができます。ファイル形式はレコーダーの独自形式(exe ファイル)となります。ファイル形式の詳細については、レコーダーのユーザーガイド「クリッププレイ」の説明をご参照ください。

「レコーダー再生」画面で“動画を保存”ボタンを押下すると「動画を保存」画面が表示されます。



保存したい期間とカメラを指定してください。「パスワード保存」にチェックを入れると、任意のパスワードをかけることができます。“開始”ボタンを押下するとファイル保存用のダイアログが表示されます。



任意の保存先とファイル名を指定して“保存”ボタンを押下してください。

## 17. 設定

Face Tracker Master の全般的な設定を変更することができます。

Face Tracker Master の設定を変更するには、メイン画面のメニューバーから「オプション」をクリックし、「各種設定」を選択します。

### 17.1. アプリケーションの設定

データの保存期間や認証履歴の表示件数についての設定値の変更は、「アプリケーション」タブから行います。

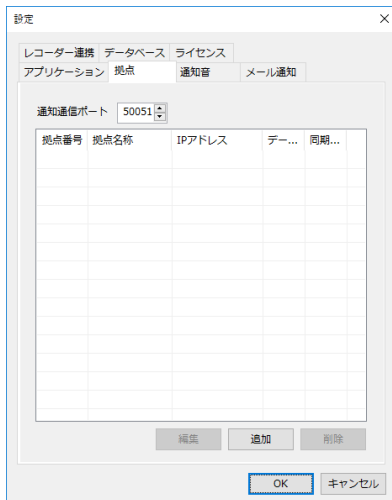


各設定項目の内容は以下の通りです。

認証通知履歴表示件数	メイン画面の認証通知履歴に表示する件数を設定します。 初期値は「100」です。
履歴同期サイクル	拠点から顔認証履歴、並びに顔検知履歴を同期するタイミングを設定します。 初期値は「60」です。
古い認証履歴を削除する	オンにすると Face Tracker Master で保存した、認証した顔データを指定した期間で削除するようになります。初期値は「オン」です。
認証履歴保存期間	認証した顔データを保存する日数を設定します。0 に設定すると当日分の履歴以外は削除されます。初期値は「30」です。
古い検知履歴を削除する	オンにすると Face Tracker Master で保存した、検知した顔データを指定した期間で削除するようになります。初期値は「オン」です。
検知履歴保存期間	検知した顔データを保存する日数を設定します。0 に設定すると当日分の履歴以外は削除されます。初期値は「30」です。

## 17.2. 拠点の設定

Face Tracker との接続についての設定値の変更は、「拠点」タブから行います。

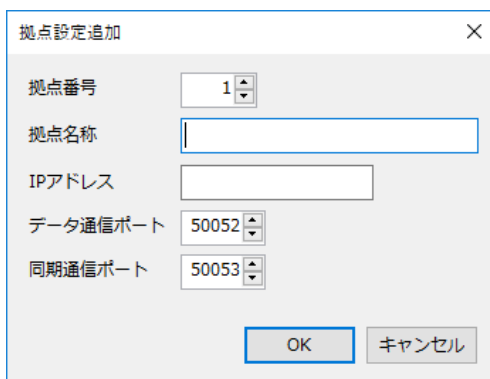


「通知通信ポート」は Face Tracker から通信を受けるポートの設定をします。

※「通知通信ポート」は通常変更しないでください。

“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「拠点設定」画面が表示されます。

また、“削除” ボタンを押下すると選択している項目を削除します。



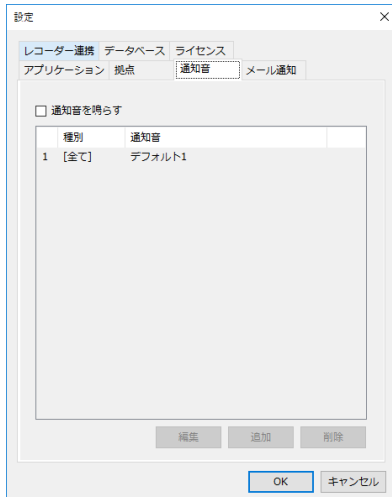
各設定項目の内容は以下の通りです。

拠点番号	任意の拠点番号を入力してください。 1~9999 まで入力可能です。
拠点名称	任意の拠点名称を入力してください。 20 文字まで入力可能です。
IP アドレス	<b>Face Tracker</b> がインストールされている PC の IP アドレスを設定してください。
データ通信ポート	<b>Face Tracker</b> と通信を行うポートの設定をします。 デフォルトでは「50052」となります。 ※通常変更する必要はありません。
同期通信ポート	<b>Face Tracker</b> と通信を行うポートの設定をします。 デフォルトでは「50053」となります。 ※通常変更する必要はありません。

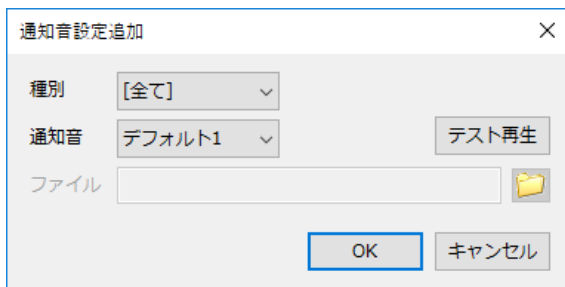
### 17.3. 通知音の設定

通知音についての設定値の変更は、「通知音」タブから行います。

通知音を鳴らす場合は、「通知音を鳴らす」のチェックをオンにしてください。



“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「通知音設定」画面が表示されます。

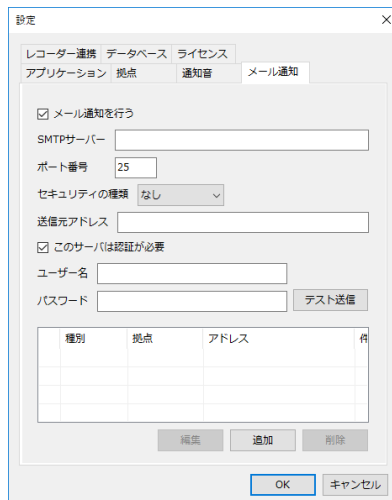


各設定項目の内容は以下の通りです。

種別	通知を行いたい種別を設定します。
通知音	デフォルト 1~5、又はファイル選択から設定します。
ファイル	通知音をファイル選択にした場合に設定します。 任意の音源を設定してください。 <b>注：対応フォーマットは wav 形式のみとなります。</b>
テスト再生	設定した音源を再生することができます。

## 17.4. メール通知の設定

メールでの通知についての設定値の変更は、「メール通知」タブから行います。  
 メール通知を行いたい場合、「メール通知を行う」のチェックをオンにしてください。



各設定項目の内容は以下の通りです。

SMTP サーバー	使用するメールの SMTP サーバーのアドレスを設定します。
ポート番号	SMTP サーバーで使用するポート番号を設定します。
セキュリティの種類	SMTP サーバーで使用するセキュリティの種類を設定します。 コンボボックスの中から適切なセキュリティの種類を設定してください。
送信元のアドレス	メール通知に使用する、送信元となるメールアドレスを設定します。
このサーバーは認証が必要	SMTP にてメールを送信する際に、認証情報が必要な場合はオンに設定します。
ユーザー名	認証を行うユーザー名を設定します。
パスワード	認証を行うユーザーのパスワードを設定します。
テスト送信	メールをテスト送信することができます。 テスト送信に失敗した場合、設定を見直してください。

設定例 (yahoo メールを使用する場合)

SMTP サーバー： smtp.mail.yahoo.co.jp

ポート番号： 25

セキュリティの種類： なし

送信元のアドレス： yahoo メールアドレス

このサーバーは認証が必要： チェック有り

ユーザー名： yahoo のアカウント名

パスワード： yahoo ログイン時のパスワード



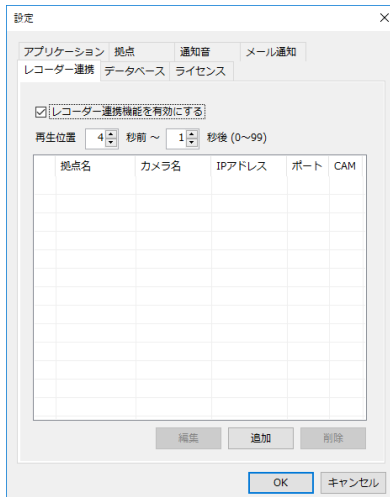
“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「メール通知設定」画面が表示されます。

各設定項目の内容は以下の通りです。

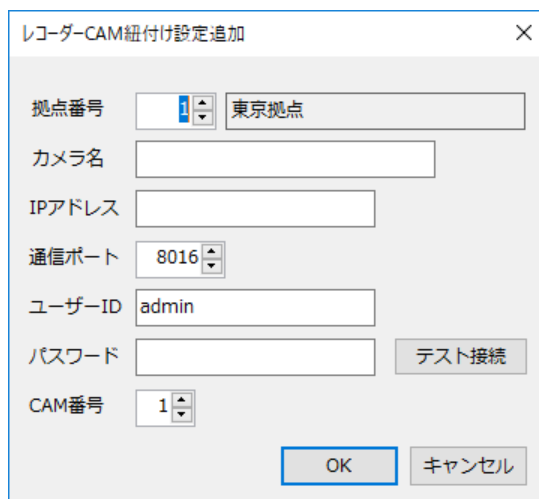
種別	通知を行う種別を設定します。
拠点	通知を行う拠点を設定します。 空欄にした場合、全ての拠点が対象となります。
宛先	通知を行う宛先のアドレスを設定します。
件名	メールのタイトルを設定します。
認証画像を添付する	チェックが入っていると認証画像を添付します。
比較画像を添付する	チェックが入っていると比較画像を添付します。
全体画像を添付する	チェックが入っていると全体画像を添付します。

## 17.5. レコーダー連携の設定

レコーダー連携についての設定値の変更は、「レコーダー連携」タブから行います。  
 コーダー連携を行うには、「レコーダー連携機能を有効にする」のチェックをオンにしてください。  
 ※レコーダー連携機能を使用しない場合は、チェックをオフにしてご利用ください。



“追加” ボタンを押下、または既に設定済みの項目を選択して“編集” ボタンを押下すると「レコーダーCAM 紐付け設定」画面が表示されます。



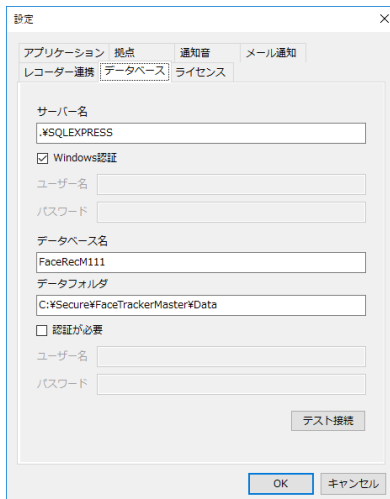
各設定項目の内容は以下の通りです。

拠点番号	連携したいレコーダーが設置してある拠点の番号を設定します。
カメラ名	<b>Face Tracker</b> に設定されているカメラ名を設定します。
IP アドレス	レコーダーの IP アドレスを設定します。
通信ポート	レコーダーの WAN 遠隔ポートに設定されているポート番号を設定します。 初期値は「8016」となっております。
ユーザーID	レコーダーのユーザーID を設定します。
パスワード	レコーダーのユーザーID に対応するパスワードを設定します。
テスト接続	レコーダーとテスト接続を行います。 テスト接続に失敗した場合、設定を見直してください。
CAM 番号	カメラ名に設定したカメラに紐づくレコーダーのカメラ番号を指定してください。

## 17.6. データベースの設定

使用するデータベース、及びデータフォルダについての設定値の変更は、「データベース」タブから行います。

注：「データベース」タブの設定は通常変更しないでください。



各設定項目の内容は以下の通りです。

サーバー名	使用するデータベースサーバーを設定します。
データベース名	使用するデータベース名を設定します。
Windows 認証	データベースに Windows 認証にて接続する場合はオンにしてください。
ユーザー名	データベースにベーシック認証にて接続する場合は設定してください。 データベースに登録されているユーザー名を設定します。
パスワード	データベースにベーシック認証にて接続する場合は設定してください。 データベースに登録されているユーザーのパスワードを設定します。
データフォルダ	認証、及び検知した顔データを保存する場所を設定します。
認証が必要	保存先が NAS や共有フォルダ等、認証が必要な場所の場合はオンにしてください。
ユーザー名	保存先のフォルダにアクセスするためのユーザー名を設定します。
パスワード	保存先のフォルダにアクセスするためのユーザーのパスワードを設定します。
テスト接続	データベース、及びデータフォルダに対してテスト接続を行います。 接続に失敗した場合は、設定を見直してください。

## 17.7. ライセンスの設定

Face Tracker を使用するためのライセンス情報を設定することができます。

注：「ライセンス」タブの設定は通常変更しないでください。

# Face Tracker Master

## ユーザーガイド

2019年1月 第1.1版

株式会社セキュア

Copyright © 2016 SECURE, INC.